

# 火事の見張り役！！住宅用火災警報器！！

住宅火災では、「逃げ遅れ」が原因で死亡するケースが非常に多く、なかでも寝ているときに犠牲になる危険性が高くなっています。そのため、寝ている時にでも火災に気づくよう、「寝室」へ住警器の設置が有効なのです。また、煙は階段を通じて上階へ広がることから、上階の部屋に煙が充満する前に警報を発して避難を促すため、「階段」への設置も義務付けられています。（※上階にも寝室がある場合）

あわせて、「消火器」も設置すると被害を最小限に抑えることができます。

住宅用火災警報器は、  
**10年を目安に、とりかえろ！**  
わが家と家族を守る基本です。



住警器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に**本体ごと取り換える**ことをおすすめします。設置時期を調べるには設置した時に記入した「**設置年月**」または、本体に記載されている「**製造年**」を確認してください。

## 定期的に家族で作動確認し、音を聞きましょう

### 正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージまたは火災警報音が鳴ります。

ピピ、  
ピーピーピー



ピーピーピー  
火事です



注)警報音はメーカーや製品により異なります。

### 音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。



●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。

これから10年間また  
家族の安心を見守る  
よ！

